

経営協議会学外委員の意見を活用した法人運営の主な改善事例

年度	区分	学外委員からの意見概要	主な取り組み	担当本部
令和4年度	第2回(令和4年6月16日開催)	GYMLABO利用についての企業や市民のニーズ、どのように参画していただけるかを調査されては。	令和4年度は、GYMLABOの施設運営の改善を主な目的として利用者アンケートを実施し、学外の利用者からは、講演会・セミナーや、GYMLABO利用者同士の交流会の開催を求める意見が寄せられ、令和5年度も利用者の交流を促す企画や、企業と学生の交流企画を実施予定である。また、令和5年度は、シェアオフィス入居企業と副学長の懇談会開催を検討しており、その場でも、GYMLABOに対する要望（ニーズ）などを確認したい。	先端研究・社会連携本部
令和4年度	第4回(令和4年11月17日開催)	半導体中核人材リスキリングセンターについて、育成された人材が熊本（TSMC）に取られてしまい、北九州市の企業における当該分野の人材確保が困難になることが懸念される。熊本以外の地域における人材の需要も念頭に置き、十分な人材育成に繋げてほしい。	令和4年4月には、北九州市の公益財団である北九州産業学術推進機構による社会連携講座「半導体産業イノベーション推進連携部門」を設置し教育活動を推進している。地域中核イノベーション環境創出事業において、FAISが運営する学研都市のクリーンルームを活用した人材育成を促進させる仕組みを提案中。	先端研究・社会連携本部
令和4年度	第4回(令和4年11月17日開催)	GYMLABOを舞台に宇宙関連のシンポジウムを開催するなど、理工学の分野に限らず一般市民も関われるような機会を設けては。	GYMLABOにおいて、宇宙関連の内容としては、九州工業大学、JAXA、企業が産学官連携により推進している超小型天文衛星プロジェクトVERTECSのミッション定義審査（Mission Definition Review：MDR）が令和5年5月に開催された。また、理工学の分野に限らず一般市民も関われるイベント等を開催しており、令和4年度では地域の方も参加可能なワークショップ、ピアノを活用した産学連携コンサートを開催したほか、北九州市主催による市民向け景観講座の受入等も実施した。令和5年度も引き続き、一般市民も関われるセミナー、ワークショップの開催を検討する。	先端研究・社会連携本部
令和4年度	第4回(令和4年11月17日開催)	リカレント・リスキリングについて、教員に対しても視野や経験を広げるため、企業と大学の相互の受入などを行って教員自身の成長も図るとよいのでは。	リカレント・リスキリングの枠組みを活用した教員に対する「学びの機会」の提供の必要性とその意義を理解している。教育接続・連携PF推進本部では、現在、教育接続の観点から、初等中等高等教育でのSTEAM教育・キャリア教育に加えて、企業のリスキリング、社会人リカレントの案件を進めているが、教育プログラムを構築する中で、本学教員のリスキリングの機会を提供することも想定している。また、SAP、デロイトトーマツなどと教育連携を進めており、本学が提供することが困難な経営工学の観点で、教員へのリスキリングの機会が提供できないかも、あわせて検討を進める予定である。例えば、令和5年度はSAPが提供するデザイン教育の講師教育の機会への参加を予定している。また、SAPとのUAを通して、企業系ERPシステムの学びに関わる機会を提供する予定としている。	教育接続・連携PF推進本部
令和4年度	第5回(令和5年1月19日開催)	成果評価結果について、本学の目標を定める場合、企業であれば達成度によって本部長の賞与に2割ほど違いが生じる。公務員系なのでどこまで可能かわからないが、このような形を上手く制度に盛り込むことができれば、目標に対する達成度を見える化できる。	令和5年度から業績評価（MBO）を導入する予定にしており、評価方法や各評価ウエイト付け、給与への具体的な反映方法等について、検討を行っている。制度設計に先行する形で、令和5年5月29日に本部長、部局長、部長、課長を対象とした「目標管理（MBO）のための目標設定力向上研修」を、専門家を招いて実施した。	管理本部
令和4年度	第6回(令和5年3月13日開催)	大学として今後優秀な学生、教職員の獲得が重要であるため、若手工学アカデミーの活動について職員採用情報のページなどにリンクを掲載し、応募のモチベーションアップに繋げては。	令和5年6月現在、本学公式ウェブサイト上に、若手工学アカデミーの最近の活動状況等を掲載した専用ページを作成中。教職員採用情報のページにリンクを掲載することで、応募者のモチベーションアップに繋げていく。また、事務職員の採用説明会において、若手工学アカデミーの取り組みをスライド紹介するなどの取り組みも引き続き行っていく。	管理本部